



「くつ」になって目だけ見えんとタマサ」という会話が診察室までよく聞かれます。どんな高齢になっても良い視力を保ちたいと誰もが望んでいます。健康に歳を重ねるためにはよく見える目が非常に重要と思われま

白内障、緑内障はよく聞く病名ですが、翼状片(よくじょうへん)という目の病気をご存知でしょうか。角膜に結膜が侵入し、次第に大きくなる、もつとわたりやすくなる言は

翼状片について

Let's 健康おきなわ21
八重山地区医師会 副会長
宮良眼科 医師 宮良長治

黒目に白目の一部がかかる病気で、充血や違和感を伴うことや、周囲からいつとも目が赤いと指摘されることで気がつく人が多いようです。ほとんどの場合、角膜の、時計で言えば3時〜9時の水平方向(鼻側に多い)に発生し、上下から出ることもあります。

鼻側、耳側の両側から出る人も珍しくありません。翼状片の原因は完全に解明されていませんが、紫外線や、ホコリなどの多い環境などの刺激で結膜の細胞に異常を

きたすのではないかと考えられています。従って、海で働く人や、農作業従事者など、発生が多く、紫外線の強い沖縄県では発生が多いことが知られています。翼状片の前段階として、瞼裂斑(ひんれつはん)と呼ばれる

や異物感などのある程度の緩和は得られますが、一度発生した翼状片は、現状維持が大きな課題です。手術で取り去る以外に良い治療法はありません。翼状片は角膜の中央に迫るほど大きくなる

と、充血などの見かけ上の問題ばかりでなく、強い角膜乱視を引き起こし、視力にも影響することがあり、このうち重症手術が必要とせざる手術が必ずやります。

翼状片の手術については、昔からさまざまな方法が試みられてきました。このうちも翼状片は不適切な手術で術後の再発が非常に多く、また再発翼状片は、癒着などが強いため再手術が非常に困難で、数回の再発を繰り返した例などは、まるで悪性腫瘍のような手に負えない状況に陥ることがあるため、一回の手術で完治させるのが重要だからです。翼状片を大きく切り取りスペースを作る方法、切除部分に結膜を寄せきて覆う方法、抗がん剤を塗布する方法、別の場所から切除部分の形に合わせて結膜片を切り出してきて移植する方法などがあ

り、これは一種のアレルギク性反応と考えられますが、瞼裂斑が角膜に侵入し始めると翼状片となり、一度角膜に侵入したものを目薬などの保存的治療法では完治させることはできません。点眼薬で充血

もいまま。これは一種のアレルギク性反応と考えられますが、瞼裂斑が角膜に侵入し始めると翼状片となり、一度角膜に侵入したものを目薬などの保存的治療法では完治させることはできません。点眼薬で充血

もいまま。これは一種のアレルギク性反応と考えられますが、瞼裂斑が角膜に侵入し始めると翼状片となり、一度角膜に侵入したものを目薬などの保存的治療法では完治させることはできません。点眼薬で充血

もいまま。これは一種のアレルギク性反応と考えられますが、瞼裂斑が角膜に侵入し始めると翼状片となり、一度角膜に侵入したものを目薬などの保存的治療法では完治させることはできません。点眼薬で充血

もいまま。これは一種のアレルギク性反応と考えられますが、瞼裂斑が角膜に侵入し始めると翼状片となり、一度角膜に侵入したものを目薬などの保存的治療法では完治させることはできません。点眼薬で充血

もいまま。これは一種のアレルギク性反応と考えられますが、瞼裂斑が角膜に侵入し始めると翼状片となり、一度角膜に侵入したものを目薬などの保存的治療法では完治させることはできません。点眼薬で充血

もいまま。これは一種のアレルギク性反応と考えられますが、瞼裂斑が角膜に侵入し始めると翼状片となり、一度角膜に侵入したものを目薬などの保存的治療法では完治させることはできません。点眼薬で充血

もいまま。これは一種のアレルギク性反応と考えられますが、瞼裂斑が角膜に侵入し始めると翼状片となり、一度角膜に侵入したものを目薬などの保存的治療法では完治させることはできません。点眼薬で充血

もいまま。これは一種のアレルギク性反応と考えられますが、瞼裂斑が角膜に侵入し始めると翼状片となり、一度角膜に侵入したものを目薬などの保存的治療法では完治させることはできません。点眼薬で充血

もいまま。これは一種のアレルギク性反応と考えられますが、瞼裂斑が角膜に侵入し始めると翼状片となり、一度角膜に侵入したものを目薬などの保存的治療法では完治させることはできません。点眼薬で充血

もいまま。これは一種のアレルギク性反応と考えられますが、瞼裂斑が角膜に侵入し始めると翼状片となり、一度角膜に侵入したものを目薬などの保存的治療法では完治させることはできません。点眼薬で充血

もいまま。これは一種のアレルギク性反応と考えられますが、瞼裂斑が角膜に侵入し始めると翼状片となり、一度角膜に侵入したものを目薬などの保存的治療法では完治させることはできません。点眼薬で充血